

第2回定例
議会報告



金子卓

若いお母さんの切実な願い

子育て支援

「中学生の医療費助成（外来・入院）」39市町村に広がる
常陸大宮市は“入院のみ”

2014年(平成26年)7月25日

金曜日

茨城新聞

※「2014県政特集」の記事の中から転載。

小児医療費助成制度の県内市町村実施状況(県調べ)

自治体	マル福対象拡大			自己負担肩代わり(小児)			所得制限の 撤廃(小児)
	小学校 卒業まで	中学校 卒業まで	高校 卒業まで	入院	外来	食事	
水戸市	○	○					
日立市	○	入院のみ					○
土浦市	○	○					○
古河市	○	○	○				○
石岡市	○	○					○
結城市	○	○					○
龍ヶ崎市	○	○					○
下妻市	○	○		未就学児	未就学児	未就学児	
常総市	○	○		○			○
常陸太田市	○	○		養育医療 対象者			○
高萩市	○	○		○			○
北茨城市	○	入院のみ		○	○		0歳～小6
取手市	○	○					○
牛久市	○	○					○
つくば市	○	○					○
ひたちなか市	○	入院のみ		中学卒業まで	3歳未満		
鹿嶋市	○	○					
潮来市	○	○					○
守谷市	○	○					○
那珂市	○	入院のみ					
常陸大宮市	○	入院のみ			○		
稲敷市	○	○					○
坂東市	○	○					○
筑西市	○	○					○
かすみがうら市	○	○			小3		
神栖市	○	○					○
行方市	○	○					○
桜川市	○	○					○
鉾田市	○	○					○
つくばみらい市	○	○	入院のみ				○
笠間市	○	○		小6	小6	小6	
小美玉市	○	○					○
茨城町	○	○			3歳未満		
大洗町	○	○		小3	小3	小3	○
東海村	○	○		○	○	○	○
大子町	○	○		○	○	○	○
美浦村	○	○		○	○	○	○
阿見町	○	○		○	○	○	○
河内町	○	○					○
八千代町	○	○			廃止		
五霞町	○	○			未就学児		
境町	○	○			4歳未満		○
利根町	○	○		○	○		小1～中3
城里町	○	○					○

枠内塗りつぶしは10月からの措置 ※6月中旬まとめ

新議会に市長提案

新しい議会になって初めての議会(第2回臨時議会)が8月11日に開かれ、議会構成の選挙等の後に市長提案の議案が提案されました。県が中学生の入院医療費に助成を拡大したことにより、当市の「医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例」が提案されましたが、改正内容は県の制度どおり、中学生の入院のみの助成拡大にとどまりました。

金子議員は質疑で、「私は子どもと高齢者の医療費は無料にすべきと考えている」と前置きし、県内多くの市町村が実施している中学生の外来医療費助成をなぜ実施しなかったのかと質問し、「この議案を取り下げ、出し直しすべき」と主張しました。

保健福祉部長の答弁は、「当市独自の助成制度を実施しており、他の市町村と比べて遜色はない」とのことでした。この問題では、第3回定例議会(9月議会)の一般質問で、市長の姿勢をたどっていきます。

金子卓議員は
文教福祉常任委員

議長(投票総数20票)	議決
秋山信夫議員	19票
金子卓議員	1票
副議長(投票総数20票 内白票1票)	
高村和郎議員	19票
後期高齢者医療広域連合議員(投票総数20票)	
岡崎榮一議員	16票
武石寿長議員	2票
川上博議員	1票
金子卓議員	1票



公約実現に
全力でがんばります

7月27日投票の市議選で、金子卓候補は1064票(前回比▲189票)を獲得9位で当選しました。残念ながら堀江鶴治候補は772票(前回比▲60票)を獲得しましたが次々点で惜敗しました。議席を後退させる結果となりましたが、これからも、市民運動を広げ、みなさんとお約束した公約実現に全力をつくします。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

市議会議員 金子卓
前市議会議員 堀江鶴治

日本共産党
常陸大宮市議会報告

2014年8月 第31号 発行/日本共産党常陸大宮市議

金子卓(常陸大宮市岩崎272-4)
☎(52)2422

第3回定例議会は
9月2日(火)開会です
一般質問は18日と19日におこなわれ、閉会は24日です。

一般質問

市のホームページで
一般質問の録画が
見られます



堀江鶴治議員
6月13日質問

御前山総合支所は
耐震補強し存続を

御前山総合支所の移転問題については、総合支所の機能を保健センター等に移し、その後、総合支所は使用しないという方針のようですが、地域住民には全くその内容が、

知られていません。

日本共産党の堀江鶴治議員は、第2回定例議会（6月議会）の一般質問で、御前山総合支所は耐震補強工事をして従来どおり存続していくよう強く求めました。

質問に対し市長は、「2課4係を保健センターと市民センターに移転を余儀なくされている。具体的には耐震診断をして判断をしたい」と答えました。

堀江議員は、住民の要望に沿って何としても耐震補強工事をして存続をすべきではないかと再質問をしました。

再質問に対し綿引副市長は、「現在庁舎には出入りする市民の皆さんの身の安全のことも考え、保健センター等2か所に移転することとはご理解を頂きたい。総合支所は3階だが現在1階しか使用をして

いない。今後しかるべき経費をかけて耐震改修をして引き続き使用をするのか、建物を解体するのにかつ

ては、それぞれに要する費用等を精査の上、判断しなければならいと思っている。いずれにしても、耐震補強工事の経費がいくらかかるのか、仮に補修した後に今の総合支所庁舎の活用がちゃんとできるのかというようなことを、これから少し時間を頂いて検討をして結論を出していきたい」と答弁しました。

堀江議員は、総合支所は住民にとつて大事な建物なので、ぜひとも耐震補強工事をしてほしいと強く要請しました。



その他の質問

■教育の振興について（御前山中の耐震補強工事、中学校卒業までの医療費無料化、小中学校教室へのクーラー設置）

■「道の駅」整備事業について



金子卓議員
6月13日に質問

地方交付税の見直し
（合併算定替）影響規模

日本共産党の金子議員は一般質問で、「合併算定替」の見直しの影響規模について質問しました。

ネット犯罪の危険が強いもとで、一つの公開された番号を生徒使うというのは時代錯誤と言われています。

この補正予算には、金子議員が反対討論をおこないました。反対したのは日本共産党の金子・堀江両議員だけでした。

請願では、日本労働組合総連合会茨城県連合会から提出された「労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める意見書の採択に関する請願」が経済建設常任委員会での採択となつたとの報告に対し、堀江議員は「この請願は労働者保護ルールの改悪をさせず、労働者の働く環

仕事・くらしの悩み
お気軽に相談を
日本共産党
連絡先 ケータイ
金子すぐる議員
090-1994-7696

総務省は、合併市町村にかかわる普通交付税の算定方法を2014年度から段階的に見直すことを決めました。合併算定替とは、「平成の大合併」で誕生した合併自治体の普通交付税を、合併10年間は、毎年度旧市町村ごとに合併しなかつた場合の交付税を計算し、その合計額を保障するという仕組みです。その後、11年目から5年間の激減緩和期間を経て、一本算定の額となります。

普通交付税の「一本算定」が、支所経費の加算によって引き上がり、削減額の3割から4割程度が緩和され、その他の見直しと合わせると4割から5割程度緩和すると見込まれています。

この間、「合併算定替がなくなつたら、当市では20億円（最近では25億円）の交付税が削減される」などと言って、行革を進める一方、市民から切実に求められている行政サービスの改善・拡充には消極的に対応するという財政運営が続けられています。

今回の見直しにより、削減の幅が相当縮小することになるわけですから、市民の誤解をまねく、これらの言い方は直すべきです。質問に対し総務部長は、「20

安倍政権打倒の
国民的大運動を
政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ
しんぶん 赤旗
日刊●月 3497円
日曜版●月 823円
日本共産党